

令和4年度 第2回帯広市健康生活支援審議会児童育成部会 議事録

日時：令和4年10月26日（水）

午後7時45分から午後8時20分

場所：市役所10階第5B会議室

会議次第

1 開 会

2 議 題

- (1) 第1回帯広市健康生活支援審議会児童育成部会議事録の確認について
- (2) 第2期おびひろこども未来プランの令和3年度進捗状況の報告について
- (3) 令和3年度民生費決算について（こども・子育て関係）
- (4) 保育士確保の取組みについて

3 その他

4 閉 会

会議資料

- ・資料1 第1回帯広市健康生活支援審議会児童育成部会議事録
- ・資料2 第2期おびひろこども未来プランの令和3年度進捗状況報告書
- ・資料3 令和3年度民生費決算状況（こども課・子育て支援課分）
- ・資料4 保育職場就労支援セミナーおびひろの開催概要

○ 出席委員（18名中18名出席）

廣瀬一浩委員、成田委員、樋渡委員、瓜屋委員、廣瀬有紀委員
池下専門委員、福島専門委員、宮崎専門委員、佐藤みゆき専門委員、
佐藤寛之専門委員、西野部会員、吉田部会員、下鳥部会員、南出部会員、林委員
七條部会員、北村部会員、吉澤部会員

○ 事務局

こども福祉室こども課 郡谷課長、坂本主幹、能登課長補佐
こども福祉室子育て支援課 山名課長、関口課長補佐
健康保険室健康推進課 梶課長補佐、城岡健康第2係長

令和4年度 第2回「帯広市健康生活支援審議会児童育成部会」 議事録
(令和4年10月26日 19:45～20:20)

<p>1. 開 会</p>	
<p>2. 議 事</p>	
<p>議題(1)</p>	<p>(1) 第1回帯広市健康生活支援審議会児童育成部会議事録の確認について</p>
<p>(事務局説明)</p>	<p>(資料1の説明)</p>
	<p>「第1回帯広市健康生活支援審議会児童育成部会議事録」について、8月に開催された第1回の議事内容を事前に送付し、委員に確認していただいた。 この内容をもって、市ホームページへ掲載したい。</p>
<p>議題(2)</p>	<p>(2) 第2期おびひろこども未来プランの令和3年度進捗状況の報告について</p>
<p>(事務局説明)</p>	<p>(資料2の説明)</p>
	<p>本計画については、令和2年度から令和11年度までの10年間を、計画期間とする2期目の計画となっている。 (1ページ)</p>
	<p>本計画の目標値として3つの項目を設定しており、令和元年度から、令和3年度の数値は資料のとおりとなっている。 「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」は90%以上を維持してはありますが、連続して減少している。 「子育て支援に関わる支援活動者数」は、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア活動などが中止となった影響を大きく受け、大幅に減少したが、令和3年度はやや回復した。</p>
	<p>(2ページ)</p> <p>3ページ以降の基本施策の進捗状況の総括表について掲載。 本計画の上位計画である「第7期帯広市総合計画」においても、3段階の評価区分となったことを受け、本計画も評価区分をABCの3段階とした。</p>
	<p>進捗状況区分の考え方は、「B」を基本とし、例年通りの取り組みに加えて新たな取り組みを実施したことなどにより、目標達成に向け十分成果が現れているものを「A」とした。 また、例年通りの取り組みが実施できなかったことにより、目標達成に向け成果が現れていないもの、昨年度の場合、新型</p>

(委員)	<p>コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった事業を含むものを「C」とした。</p> <p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した時期があるが、昨年度との違いは感染対策を取りながら、開催手法をオンラインとしたり、人数制限で調整するなどして、中止していた事業を開催することができ、参加人数も回復する状況が見受けられた。</p> <p>このことから、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部では中止している事業はあるが、感染予防対策を徹底し、開催方法を工夫するなど、総合的に判断し、概ね例年通りの取り組みとみなせるものは「B」としたところ。</p> <p>その結果、「A」が1項目で6%、「B」が15項目で94%、「C」が0項目となった。</p> <p>(13ページ)</p> <p>Ⅲの3 子育てを地域で支える仕組みづくりの推進</p> <p>昨年度は新型コロナウイルス感染症感染防止対策を取りながら、徐々に事業を再開し、実施回数・参加人数も増加した。</p> <p>ファミリーサポートセンター事業では、令和2年度695人であった会員数が、令和3年度は735人と40人増加。</p> <p>活動回数も令和2年度の1,195件から令和3年度は1,510件と、315件増え、コロナ禍でも地域の取り組みが子育て世帯を支えてきた。</p> <p>総合的に判断し、概ね例年どおりの取り組みとみなせるものとして、進捗状況はBとした。</p> <p>(15ページ)</p> <p>Ⅲの5 ひとり親家庭への支援</p> <p>例年の取り組みを行ったほか、子育て世帯生活支援特別給付金の支給などを行い、概ね順調に進捗しているものとして、Bとした。</p> <p>(16ページ)</p> <p>Ⅳの1 子どもの体験活動の推進ですが、</p> <p>令和2年度はコロナの影響により、体験活動をはじめとする各種事業が軒並み中止や規模縮小となり、例年通りの取り組みができなかったが、令和3年度は開催できた事業も増え、利用者数も伸び、進捗状況はBとしている。</p> <p>今後も引き続き、衛生対策に十分配慮しつつ、本計画の基本理念に基づき、安心して子どもを育てられる環境づくりに取り組んでいく必要があるものと考えているところ。</p> <p>フッ化物洗口について、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっているが、今後再開する目安としては、どのように考えているのか。</p>
------	---

<p>(事務局)</p>	<p>フッ化物洗口は新型コロナウイルス感染症が感染拡大してから中止となっている。コロナが落ち着いた状況に、歯科医師会とも相談しながら進めていきたいと考えている。先日、保健所から今後の具体的な取り組み方法について話をする機会があったので、それらを参考にしながら、再開に向けて検討していきたい。</p>
<p>(委員)</p>	<p>乳幼児健診の実施について、令和3年度の受診者数が書かれているが、受けるべき人が受けているのか、パーセンテージはどうだったのかわからないため、評価のBが正しいのかわかりかねる。具体的に入れていただけるとわかりやすい。</p> <p>乳幼児健診では、他の町村は屈折異常の検査をやっているが、帯広市は実施していない状況がある。</p> <p>屈折異常については3歳までに治療しないと手遅れになるため、進めてほしいと思う。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>乳幼児健診は、1歳6ヶ月児健診と3歳児健診があるが、令和3年度で1歳6か月児健診受診率は95.1%、3歳児健診は96.2%となっており、例年、平均96%くらいの受診率となっている。歯科健診については1歳6ヶ月児健診、3歳児健診ともに健診会場で受診してもらっているため、同じ受診率となる。</p> <p>フッ化物塗布は健診が終わった後に、歯科医院に行って受けていただく手法となっており、実施率は1歳6ヶ月児健診で53.1%、3歳児健診で43.1%となっている。</p> <p>健診後1か月間有効のフッ素塗布カードを渡し、受診について案内している。受診率は5割となっている。</p> <p>帯広市では現在、3歳児健診の視力検査は絵指標を使って、ご家庭でやっていただいている。難しい場合は健診会場で行っているが、ご意見をいただいたように、屈折検査については、弱視の早期発見に非常に有効ということは承知しており、管内の取組状況も進んでいることも承知している。</p> <p>現在、導入に向けて検討しているところであり、取り組んでいきたいと思っている。</p> <p>おびひろこども未来プラン進捗状況の表記については、現在人数しか書いていないが、今後割合で表示できるものについては、改善していきたい。</p>
<p>(委員)</p>	<p>1ページ目の保育所の待機児童数については、徐々に減っている。市のホームページで見たが、4月1日現在は0人となっていたので、目標達成になると思う。</p> <p>4月1日は一番少なくなる傾向にあるし、98人の潜在的待</p>

<p>(事務局)</p>	<p>機児童数までゼロにするには難しい課題もあると思うが、保育ニーズに対応した取り組みを進めていただきたい。</p> <p>令和4年度4月1日現在、待機児童数は0人であり、目標を達成することができた。受け皿の確保や保育人材の確保に取り組んできた成果だと思う。</p> <p>委員がおっしゃる通り、4月1日以降、待機児童数は増えており、10月1日現在は13人が待機児童となっており、潜在的待機児童は198人いる状況。</p> <p>可能であれば、受入枠を潤沢に持つのが理想であるが、運営面、人材確保面から難しい状況である。今後の児童推計を見据えながら、必要な方々の保育枠の確保に向けて、認可保育所をはじめ、認可外保育所等のご協力をいただきながら、しっかりと対応してまいりたい。</p>
<p>(委員)</p>	<p>発達に支援が必要なお子さんをいろいろなところで発見していただけるようになり、市内にもたくさんのサポート施設ができています。施設に通われるようになったお子さんの保護者の方から、親としても大変不安が大きい中、3歳児健診に行ったが、何も告げられずさらっと終わってしまった。これから私たちはどうしたらいいのかと、偶然にも数件、伺う機会があった。</p> <p>健診では専門の方が診てくれるので、発達等の不安はそこで聞いてもらい、親の心情を理解して健やかに育つためのアドバイスをしていただきたい。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>乳幼児健診においては、保健師が育児の状況や発達の確認などを併せて行っている。それに伴って、育児の不安などに寄り添って対応するようにしているが、発達のことで気持ちに寄り添えてなかった部分もあったとのことで、今一度、健診時の実際の声について、従事するスタッフ一同、共有させていただきながら、しっかり受け止め、安心して育児ができるような環境づくりを確保していくことに力を注ぎたい。</p>
<p>議題(3)</p>	<p>(3) 令和3年度民生費の決算について</p>
<p>(事務局説明)</p>	<p>資料3の表は予算科目ごとに掲載しており、その科目内で大きな割合を占める主な事業についての詳細を、資料下の部分に掲載している。表右側の、令和2年度決算と対比した主な増減理由を中心に説明します。</p> <p>まず、児童福祉費のうち、「児童福祉総務費」としては、「子育て世帯給付金」が20億円の増となっている。</p> <p>令和2年度の実施分は「0歳～中学生のいる児童手当を受給</p>

<p>議題（４）</p> <p>（事務局説明）</p>	<p>する世帯に対し、児童 1 人当たり 1 万円支給」であったが、令和 3 年度の実施分は「児童手当同様の所得制限があるが、0 歳から高校生までの子どもに対し、1 人当たり 10 万円」であったことから、増となったもの。</p> <p>また、「ひとり親世帯給付金」が 3 億 4 千万円の減となっている。これは、令和 2 年度に実施した「ひとり親世帯臨時特別給付金」のことで、低所得のひとり親世帯に対し支給したもの。</p> <p>この臨時特別給付金は令和 2 年度のみであったことから、令和 2 年度決算額分が減と表示されている。令和 3 年度は「子育て世帯生活支援特別給付金」として、低所得のひとり親世帯、ふたり親世帯に支給しており、資料中ほどの、「主な事業」の「児童福祉総務費」にも記載しているが、「ひとり親子育て世帯生活支援特別給付金給付費」が、1 億 5,084 万 7,699 円、「ふたり親子育て世帯生活支援特別給付金給付費」が、7,463 万 6,017 円の決算額となっている。</p> <p>ほかに主なものとしては、「医療給付費」として、令和 2 年度との決算比較では、医療給付費が乳幼児で 5 千万円増、未熟児養育医療で 3 千万円減となっている。</p> <p>未熟児養育医療は、対象となる件数が減少したことにより、医療費も減少し、減となっている。乳幼児医療費は増となっているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大による未就学児の受診控えが令和 2 年度から見られたことにより、そこから若干、医療給付件数が増となったもの。令和元年度に比べるとまだ減少した状態となっている。</p> <p>（４）保育士確保の取組みについて</p> <p>今年度で 6 回目となる保育職場就労支援セミナーを 10 月 4 日に開催した。保育士不足は本市においても公立私立共通の課題となっている。保育需要に対する保育士の確保のため、保育の仕事に興味のある方を対象に、不安なく保育現場に就労していただくための保育の基本を学べるセミナーと、市内各保育施設の映像を使って紹介させていただいたところ。</p> <p>市の LINE を使うなど、周知方法を工夫したことにより、27 人の申し込みがあり、当日参加は 24 人となった。当日欠席の方に対しては、情報提供を行っている。</p> <p>参加者 24 人のうち 9 の方が保育士資格を保有しており、保育士として働いていた経験のある方は 8 人。子育て中の方も多く、託児を行って 8 人の方をお預かりして実施したところ。</p> <p>今すぐではないが、将来的には保育士として働きたいという方や、すでに保育補助として働いている方の参加もあり、今後資格を取得したい、また、現在取得に向けて取り組んでいると</p>
------------------------------------	---

<p>3. その他 (事務局説明)</p>	<p>いう方の参加もあった。</p> <p>職場紹介では7法人の参加をいただき、公立保育所含めそれぞれの施設を紹介した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大前の職場紹介では直接施設の方から紹介していただいていたが、今は映像での紹介となっている。今後この状況が落ち着いてきたら、直接お話ししていただくことで、さらに就労に繋がりやすくなるのではないかと考える。</p> <p>個別に連絡を取りながら対応しているところだが、一人でも多くの人が就労に繋がるよう、各施設と参加者とを繋いでいけるよう今後も取り組んでいきたい。</p> <p>(1) 児童育成部会の所掌事務の見直しについて</p> <p>令和5年度が、現在第6期となる帯広市障害福祉計画の次期計画を策定する年となる。第5期、第6期計画では、健康生活支援審議会の「児童育成部会」と「障害者支援部会」の合同部会でご審議をいただいていたところ。</p> <p>次期(第7期)計画策定にあたり、審議方法の見直しを予定している。</p> <p>その理由としては、この帯広市障害福祉計画は、障害児の福祉計画と一体的に策定しているもので、児童発達支援や放課後等デイサービスなどの障害児福祉サービスの量の見込みと提供体制の確保方策を定めるという内容となっている。こうした内容であるため、障害者支援部会において、障害に関する有識者により専門的見地から審議していただくこととし、また、委員の皆様のご長時間の会議時間の負担軽減という観点からも、合同部会としない方法でと考えたところ。</p> <p>なお、子ども・子育て支援法等に基づく「おびひろこども未来プラン」策定時等において、障害児を含む子ども全般の子どもの権利に関することや、子育て支援施策の推進について、今後においてもご審議いただく。</p> <p>(2) 次回開催について</p> <p>次回の部会については、翌年2月を予定。 日程については、別途ご案内する。</p> <p style="text-align: right;">(了)</p>
----------------------------------	--